

道徳科学習指導案

指導者 田口 沙弓

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 3 校時（10:30～11:15）
- 2 学年・組 第 3 学年花組 27 名
- 3 主 題 名 相手を思いやって親切にする <内容項目 親切・思いやり B（6）>
- 4 教 材 名 心と心のあく手 （わたしたちの道徳）
- 5 ね ら い おばあさんの後をそとついて行った「ぼく」の気持ちを通して、相手のことを思いやり、親切にしようとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

自分のことばかり考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。お互いが相手に対して思いやりの心を持ち親切に接するようにすることが不可欠である。また、単に手を差し伸べるだけでなく、時には相手のことを思いやり、温かく見守ることも親切な行為の表れである。特に学校生活においては、様々な人と直接的に多様な関わり合いをもち、その上で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくっていくことが重要である。

中学年においては、様々な人との関わりが次第に増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く考えたりすることができるようになる。一方、ともすると他の人の考え方や感じ方が自分の考え方や感じ方と同様であると思い込みがちになることもある。そのため、相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要である。

指導に当たっては、相手の置かれている状況を自分のこととして想像することによって相手のことを思いやり、親切にしようとする道徳的心情を育てたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、男女関係なく、仲良く過ごすことができ、休み時間に怪我をした友だちがいたときには、保健室と一緒に連れて行ったり、泣いている友だちを見掛けたときには声を掛けたりする姿が見られる。また、学習面でも、問題を解くのに困っている友だちがいたら進んで声を掛け合い教える姿が見られるなど、困っている人には進んで親切にすることができる児童が多い。

しかし、親切心から過度に思いやることで、相手に嫌な思いをさせてしまったり、相手に断られた時に、逆に相手を責めてしまったりする児童もいる。

そこで、本教材の学習を通して、相手のことを思いやり、親切にすることの大切さを考えさせたい。その中で、親切にしたり励ましたりする行動が表れることだけでなく、黙って温かく見守るといった目に見えない親切もあることを理解させ気付かせたい。

(3) 教材について

本教材の「ぼく」は、学校から帰る途中で、大きな荷物を持ったおばあさんに会う。おばあさんに「荷物、持ちます。」と声を掛けるが断られてしまう。その話を母にすると、おばあさんが歩く練習をしていることを教えてもらう。数日後、またおばあさんに会ったとき、「ぼく」は、声を掛けようかどうか考えたが、そつと後をついて行くことにする。家にたどり着いたおばあさんの笑顔を見て、「ぼく」は「心と心のあく手」をしたような気がしたという内容である。

「ぼく」のそつとおばあさんの後ろをついて行った気持ちを通して、親切にしたり励ましたりするなどの行動が表れることだけでなく、黙って温かく見守るといった目に見えない思いやりもあることを理解させ気付かせたい。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・ 道徳ノートを活用し、一人一人が自分の考えを持てるようにする。
- ・ ペアトークを取り入れ友達の考えを聞くことで、より深く考えられるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・「親切」について考える。	一斉	「親切」とは、どんなことですか。 ・優しくしてあげること。 ・困っている人がいたら助けてあげること。 ・声を掛けてあげること。	・身近な親切について、してもらったことやしてあげたことを振り返らせる。	
展開	・教材を読む。	一斉	荷物を持ったおばあさんの苦しそうな様子を見たとき、ぼくはどんなことを考えたでしょう。 ・苦しそうで、心配だな。 ・大変そうだな、大丈夫かな？ ・声を掛けたいけど、はずかしいな。 ・声を掛けて、荷物を持つのを手伝ってあげよう。	・すぐに声を掛けたいけど、なかなか声を掛けることができないぼくの気持ちに共感させる。	・挿絵等 ・発問カード
	・「ぼく」はどんな気持ちから、そっとついて行ったのかを考える。	個別ペア 一斉		おばあさんが歩く練習をしていることを知り、ぼくの気持ちに変化したことに気付かせる。 ●おばあさんの嬉しそうな顔を見て、ぼくはどんな気持ちになりましたか。	※おばあさんの気持ちを考えて行動した、「ぼく」の気持ちに気付くことができたか。 <道徳ノート>
	・本当の親切について考える。	一斉		「親切」とは、どんなことですか。 ・相手の気持ちを考えること。 ・相手のためにすること。 ・相手のことを思いやること。 ・相手のことを見守ること。	
終末	・振り返りを書き、交流する。	個別 一斉	今日の勉強で分かったことや思ったことを道徳ノートに書きましよう。	・振り返りを交流することで、実践していこうとする気持ちを共有させる。	※相手のことを思いやり、親切にしようとする道徳的心情をもつことができたか。 <道徳ノート>

9 板書計画

第二十五 回道德

「親切」とは
.....
心と心のあく手
.....

挿絵

に物を持ったおばあさんの
苦しそうな様子を見たとき

挿絵

おばあさんの後ろを
そっとついて行ったとき

.....

.....

10 道德ノート

道德ノート

第二十五回 『心と心のあく手』

十二月一日

名前()

考えメモ

ほくほく、どんな気持ちかな
おばあさんの後ろをそっとついて行ったのを見て
.....

ふりかえり

◎考えたことや友だちの意見を聞いて感じたことを書きまわそう。

.....

◎いつか考えることができた。

4・3・2・1

◎考えが深まった、新しい発見があった。

4・3・2・1

◎おばあさんの生活がわかるようになった。

4・3・2・1